

令和2年度

花巻市行政評価委員会の評価結果に対する市の考え方

令和2年11月 花巻市

目 次

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会	ページ
1-2 工業の振興	1 技術力・経営力の向上	しごと	1
1-3 商業の振興	2 商店街の再生		2
2-5 福祉の充実	3 障がい者福祉の充実	暮らし	3
2-6 健康づくりの推進	1 健康づくりの支援		5
3-1 子育て環境の充実	1 子育て支援の充実	人づくり・ 地域づくり	6
3-3 生涯学習の推進	1 自主的学習の推進		9
行政評価の改善に関する提言		/	11

施策No.1-2-1「技術力・経営力の向上」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	<ul style="list-style-type: none"> ・反映している。 		
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	<ul style="list-style-type: none"> ・「設備投資伸び悩み」の要因として、「中小企業の景況感の減速がみられること」が挙げられことで済まされているが、その景況感の減速の要因として、消費税率の引上げ、駆け込み需要の少なさ、米中貿易摩擦を挙げるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、消費税率の引上げ、駆け込み需要の少なさ、米中貿易摩擦等の背景・要因の記載が不足していたため、来年度の評価より、地域企業への影響などについて具体的に記述いたします。 	<p>商工観光部 商工労政課</p>
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な検証がなされている。 		
「5 施策の総合的な評価」について	<ul style="list-style-type: none"> ・評価がなされている。 		
●シート記載内容全般について	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、「制度の活用に至っていない」に対して「周知を図る」と方向性が述べてあるが、より具体的に記述されることが望ましい。 ・「スクラップアンドビルド」という表現があるが、「拡充と見直し」という表現のほうがわかりやすい。 ・事前の参考資料として、産業支援施策のパンフレットも配布していただければ良かった。 ・シートの形式の見直しが必要である。もっとシンプルにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、事業の周知方法に関する具体的な記述が不足しておりました。例えば金融機関や商工会議所等の関係機関による市内事業者への周知や、支援体制の一層の強化を図るために、関係機関向けに説明会を開催するなどの取組が考えられますので、来年度より具体的に記述するよう努めます。 ・ご指摘のとおり、わかりやすい文章表現に改めます。 ・施策評価シートだけでは分かりづらい事業については、補足資料を事前送付するよう努めます。 ・現状の施策評価シートは花巻市の評価に必要な項目を網羅したものと考えております。第1回の委員会の際にシートの構成や評価の視点等を説明し、施策評価シートをご確認いただく際に不明な点がないようにいたします。 	<p>商工観光部 商工労政課 総合政策部 秘書政策課</p>

施策No.1-3-2「商店街の再生」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	<ul style="list-style-type: none"> 反映している。ただし、花巻地域に偏りすぎており、市民目線で見ると、大迫、石鳥谷、東和へも触れられるべきである。さらに、商店街の新しい動きについて、市民にPRすべきである。例えば、若者によるリノベーションの街づくりへの取組など。 	<ul style="list-style-type: none"> 3地域において実施している中心市街地の活性化につなげる施策（顔づくり交付金を活用した取組など）の検証が不足しておりました。来年度の評価より、大迫、石鳥谷、東和地域の状況や商店街の新しい動きについて、検証の上記述いたします。 	商工観光部 商工労政課
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	<ul style="list-style-type: none"> 説明されている。ただし、「市街地における一日当たりの歩行者数」という成果指標の妥当性については、自動車利用者が多くその人たちの計測が難しいのではないかと、疑問が出された。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標「市街地における一日当たりの歩行者数」の妥当性については、例えば「駐車場の利用台数」などを検討しましたが、花巻地域の市街地には有料駐車場があり駐車台数の把握が可能である一方、ほかの3地域には有料駐車場が無く、各地域均等に把握することができないため、現状のとおりと考えております。今後もよりよい成果指標の検討を続けてまいります。 	
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業の検証結果がすべてCであったが、事務事業の必要性についてより具体的に記述すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の機能や賑わいを維持するためには、商店街の利便性を向上するための事業や賑わいをつくるイベントや創業への支援事業などを継続して実施する必要があると考えております。しかしながら、ご指摘のとおり、各事務事業の必要性に関する記述が不足しておりましたので、その必要性について、来年度はより具体的に記載いたします。 	
「5 施策の総合的な評価」について	<ul style="list-style-type: none"> 評価がなされている。 		
●シート記載内容全般について	<ul style="list-style-type: none"> 花巻地域に記述が偏っている。事務事業では、その多くが、大迫、石鳥谷、東和を対象にしている。これらの地域での今後につながる動向をきちんと記述してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 3地域において実施している中心市街地の活性化につなげる施策（顔づくり交付金を活用した取組など）の検証が不足しておりました。来年度の評価より、大迫、石鳥谷、東和地域の状況や商店街の新しい動きについて、検証の上記述いたします。 	

施策No.2-5-3「障がい者福祉の充実」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	<ul style="list-style-type: none"> 前年度評価時の方向性に対応した形で当該年度の施策への取組みがなされていると考えられる。 		
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	<ul style="list-style-type: none"> しっかりと足元を見据え、適切に数字も示されており、分かりやすい分析となっていると考えられる。ちなみに、広報等には障がい者に関する情報も多く掲載されている。こうした市の取組みも施策の実現に一定の効果をもっていていると考えられる。成果指標の達成度「a」評価の分析として外的要因以外にもこうした取組みに関する分析もあればさらに良かったのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の達成度の分析について、全国規模の行事が大きな要因となっていたことのほかに、「◎前年度の評価の振り返り」に記載したとおり「講演会」、「作品展」、「広報はなまきでの事業所紹介」など継続して実施している取組があることから、今後、それら普及啓発事業の成果についても分析し、検証に加味できるようにしてまいります。 	健康福祉部 障がい福祉課
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	<ul style="list-style-type: none"> 必要な検証がなされていると考えられる。補足的な意見として、さらに成果の向上を図る事業としてあげられている「障がい者生活支援事業」については、ボランティアの募集という指標は重要だが、さらに評価の部分の掘り下げ、改善への方向性を探る切り口としてボランティア募集以外の部分にも多角的に間口を広げるような企画を検討する余地もあるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がいへの理解を進めていくために、ボランティア養成講座修了者が活動する場を広報はなまきで紹介するなど、ボランティア活動に関心を持っていただけるような手法を検討してまいります。また、現在の事業の拡大や新事業の企画、障がい者と市民がふれあうことができるイベントなどについて今後検討してまいります。 	健康福祉部 障がい福祉課
「5 施策の総合的な評価」について	<ul style="list-style-type: none"> 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組み、その成果指標の達成状況の分析と構成する事務事業の検証を踏まえた形で適切に総合的な評価がなされていると考えられる。 		
●シート記載内容全般について	<ul style="list-style-type: none"> 正確な用語の使用、簡潔な表現、分かり易さのそれぞれを満足させるよう努力されていると考えられる。そのうえで、事務事業名として「～事業費」となっているのは違和感を感じる。 「障がい者地域生活支援拠点等整備事業」の「地域生活支援拠点等」の概念は、なかなかイメージしづらいものがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確性や効率性の観点から施策評価シートをシステム管理しており、その取扱い上「～事業費」となっておりますので、ご了承願います。 部会の際に説明資料として「地域生活支援拠点等の整備について」のイメージ図をお示ししましたが、全国的にも事例が少ないためイメージしづらいと思います。当市では 	総合政策部 秘書政策課 健康福祉部 障がい福祉課

		現在地域生活支援拠点等を整備中ではありますが、広報はなまきや市ホームページなどにおいて、わかりやすい周知に努めてまいります。	
--	--	----------------------------------------------------------------	--

施策No.2-6-1「健康づくりの支援」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	<ul style="list-style-type: none"> 前年度評価時の方向性に対応した形で当該年度の施策への取組みがなされていると考えられる。 		
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	<ul style="list-style-type: none"> おおむね妥当な分析がなされていると考えられる。そのうえで、成果指標「健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合」の達成状況に関する分析について、コロナによらない要因分析が加わればさらに良かったのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の市民アンケート結果を年代別にクロス集計して分析した結果、前年度に比べ20～29歳、30～39歳、60～64歳、70歳以上は上昇、そのほかの年代は横ばいか減少傾向となりましたが、特徴的な傾向やその要因が見られませんでした。ただし、アンケート調査時期に新型コロナウイルス感染症が発生していたため、その影響を記載したところです。 	
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	<ul style="list-style-type: none"> これまでの成果や活動実績を踏まえて、具体的な検証がなされていると考えられる。 		健康福祉部
「5 施策の総合的な評価」について	<ul style="list-style-type: none"> おおむね、これまでの記載を踏まえた総合的な評価となっていると考えられる。そのうえで、「3. 成果指標の達成状況に関する背景・要因」のところで示されていた、食生活改善推進員を通じた講習会の「参加者の固定化や高齢化」という分析には、この施策に係る現在の課題と今後の方向性を考えるうえでの大切な視点が含まれているとも考えられる。youtube やオンラインを活用した、若い世代に向けた健康のための食生活や生活改善のアプローチというようなことが今後の方向性として示されていれば、さらに良かったのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、食生活改善推進員を通じた講習会の参加者の固定化や高齢化については、改善に取り組まなければならないと感じているところであり、このことに関する検証が不足していました。今後は幅広く特に若い世代にアピールできるよう、ご指摘のインターネットによる動画配信など、新たな取組の実施に向けて検討してまいります。 	健康づくり課
●シート記載内容全般について	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 		

施策No.3-1-1「子育て支援の充実」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策評価シートであるから、「現状と課題」に記載されている事項については、すべての項目について記載すべきである（「5 施策の総合的な評価」の「今後の方向性」の記載とかわる）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状と課題」には、施策の基本情報として中期プランに記載されている「現状と課題」を掲載しており、それらに対応する取組を「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組」に記載しております。 「前年度評価時の今後の方向性」には取組が多岐にわたる場合、重点的に取り組む事項のみを記載している場合があり、本項目はその方向性に対応して記載することとしているため、要点を絞った記載になる場合がございます。 	総合政策部 秘書政策課
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の達成度（小文字）と施策全体の達成度（大文字）の関係がわかりにくい。 ・成果指標が達成できていない場合のその背景・要因についての分析が不足しているのではないかと。具体的には、達成度がcであった「保育所の待機児童数」について、「保育士確保が追い付かず待機児童が発生している」と言及されているのみであり、なぜ保育士確保が追い付かなかったのか、その背景・要因について分析し、説明するべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回の委員会の際に施策評価シートの達成度の判定方法について見方を説明し、評価の際に不明な点がないようにいたします。 ・保育士不足は花巻市のみならず、全国・県内各地でも発生している状況にあります。県内各自治体においても確保策を実施して確保に努めていることから、保育士の確保が進まない状況にあります。施設整備が進み、保育定員は増加しているものの、働いていただく保育士が不足し、定員まで児童を受け入れられない施設があります。来年度は分析の説明に不足がないよう丁寧に記載いたします。 	総合政策部 秘書政策課 教育部 こども課
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 		教育部 こども課
「5 施策の総合的な評価」について	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する今後の方向性については、他の選択肢の可能性はないのかについて検討してほしい。例えば、「公設の学童クラブでの待機児童解消を図るため、保育スペースの確保が必要である」との課題に対し、「待機児童がいる学童クラブについて、施設の増築を実施する」が今後の方向性とされているが、既存施設を改築することなども選択肢となりうるのではないかと。増築のみが今後の方向性なのであ 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育スペースを確保するためには、施設面積を増やす必要がありますが、工事期間やコストの面、工事期間の保育の確保の点から検討を行った結果、増築で対応することとしたところです。 	教育部 こども課 総合政策部 秘書政策課

	<p>れば、なぜ増築のみが選択肢となるのか、その理由について言及してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の方向性に記載されている内容に具体性が乏しい。具体的に数値的なものも示していくべきである。 ・施策評価シートであるから、「現状と課題」に記載されている事項については、すべての項目について記載するべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を受けまして、今後の方向性については数値等を含めより具体的に記載するよう努めてまいります。 ・「現状と課題」には施策の基本情報として中期プランに記載されている「現状と課題」を掲載しており、それらに対応する取組を「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組」に記載しております。 <p>本項目は「3 成果指標の達成状況」や「4 施策を構成する事務事業の検証」の分析結果を踏まえて「課題」を抽出し、それに対応する「今後の方向性」を記載することとしており、取組が多岐にわたる場合、重点的に取り組む事項のみを記載している場合がございます。</p>	
<p>●シート記載内容全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状をふまえ、課題を解決するための政策・施策・事務事業であると思われるが、現状と課題に記載されている内容と施策評価シートの内容に乖離があり、成果指標自体が適切なのかについて疑義がある。 ・成果指標について、その成果指標が設定された背景や意図、目標値の根拠を示してもらいたい。それがなければ、目標が高いために達成度が低いのか、目標が低いために達成度が高いのかについて判断できないためである。 ・成果指標が%である場合、実数も記載してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現状と課題」は第2期中期プランの策定時（H28）に設定したものであるため、既に課題が解決されたり、新たな課題が発生するなど現状と異なっている場合があります。また、成果指標についても、第2期中期プラン策定時点（H28）で施策の目指す姿の達成度を測定するために最適であると判断した項目を設定しております。 第3期中期プランでは「現状と課題」を再検討し、成果指標についても、より適切なものへと見直しを行っております。 なお、各施策の成果指標については、第3期中期プランの計画期間内でも必要に応じて見直しを検討してまいります。 ・施策評価シートをご確認いただく際に必要な情報と考えますので、成果指標の設定に係る根拠資料を事前に送付し、シートと合わせて確認できるようにしてまいります。 ・分析にあたり実数の把握も必要となる成果指標に関して 	<p>教育部 こども課 総合政策部 秘書政策課</p>

		は、「達成状況に関する背景・要因」に実数を記載するよう にまいります。	
--	--	----------------------------------------	--

施策No.3-3-1「自主的学習の推進」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について	・特になし		
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について	・「60代前半でのシニア大学入学者も減少傾向にある」とあるが、成果指標は「生涯学習講師新規登録者数」であり、達成状況に関する背景とは無関係である。後段では60代以下の講師登録者数（新規なのかは不明）について記載されており、70代以上の新規登録者の状況が記載されていないので、記載するべきである。	・シニア大学入学者については、生涯学習講師に登録の多い60代の近年の傾向として参考記載したものでした。特定の年代に限らない分析が必要でしたので、今後は具体的に記載してまいります。 なお、令和元年度の生涯学習講師新規登録者の14名の内訳は、20代～40代が4名、50代が2名、60代が5名、70代以上が3名となっております。	
「4 施策を構成する事務事業の検証」について	・生涯学習活動支援事業において「工夫が必要」とあるが、どのような工夫が必要なのかが不明である。施策の目標を達成するために具体的にどのような事業を行うべきなのかについて記載するべきである。 ・新たに取り組むべき事業として、新花巻図書館整備事業に関する「ワークショップ等を実施する」とあるが、いつ（いつまでに）何を（等の詳細が不明）行うのかについての記載がなく、新たにに取り組むべき事業の詳細について記載するべきである。	・生涯学習活動支援事業において、「各地域のコミュニティ会議と連携した事業を構築する」など工夫について具体的に記載すべきでした。今後は具体的に記載するよう努めます。 ・新花巻図書館整備事業につきましては、基本計画の素案策定に向けて、令和2年7月から10月にかけてワークショップを実施し、その後市民等との意見交換会を実施する予定としていたため、それらを記載するべきでした。ご指摘のとおり記載が不足していたため、今後は、新たに取り組むべき事業について記載してまいります。	生涯学習部 生涯学習課
「5 施策の総合的な評価」について	・課題として、生涯学習講師新規登録者数を増やす「工夫」や生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合を増やす「工夫」が必要とあるが、どのような工夫が必要なのかについて具体的に記載するべきである。 ・今後の方向性として、「検討する」との記載が複数みられるが、何を検討するのかが不明であり、検討内容は何かについて具体的に記載するべきである。	・「工夫」については、課題に対応した方向性として「生涯学習講師新規登録者数を増やすために市広報を利用しての呼びかけや生涯学習講師利用者への声掛けなどにより多方面への周知を図る」など具体的に記載するべきでした。今後は具体的な記載に努めます。 ・ご指摘のとおり「何を検討するか」の具体的な記載が不足しておりましたので、今後は課題に対応した方向性について具体的に記載してまいります。	

<p>●シート記載内容全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状をふまえ、課題を解決するための政策・施策・事業であると思われるが、現状と課題に記載されている内容と施策評価シートの内容に乖離があり、成果指標自体が適切なのかについて疑義がある。 ・成果指標について、その成果指標が設定された背景や意図、目標値の根拠を示してもらいたい。それがなければ、目標が高いために達成度が低いのか、目標が低いために達成度が高いのかについて判断できないためである。 ・総じて記載内容に具体性が乏しく、何のための評価・検証なのか、疑問を呈せざるを得ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は第2期中期プランの策定時（H28）の「現状と課題」から設定したものであるため、H31の状況と乖離していると感じられる点があったかと存じます。 第3期中期プランでは「現状と課題」を再検討し、成果指標を見直しております。なお、第3期中期プランの計画期間内で必要に応じて見直しを検討してまいります。 ・施策評価シートを確認いただく際に必要な情報と考えますので、根拠資料を事前に送付し、シートと合わせて確認できるようにしてまいります。 ・記載内容についてのご指摘につきましては、真摯に受け止め、改善に努めます。 ・評価を通して前年度の結果を振り返り、改革や改善の方策を考えて次年度の施策の方向や予算等への反映が図られるよう努めてまいります。 	<p>生涯学習部 生涯学習課 総合政策部 秘書政策課</p>
-----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------

行政評価全般

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	担当部課名
行政評価の改善に関する提言	<p>(1) 行政評価委員会への資料配布方法について 事前に配布される資料について、郵送かデータ配信とするかを委員の希望に応じて選択ができるようにした方がよい。</p> <p>(2) 成果指標について 成果指標について、設定された背景や意図、目標値の根拠などの情報がなければ、目標が高いために達成度が低いのか、目標が低いために達成度が高いのか判断できないため、評価する際の情報として示すべきである。</p>	<p>(1) 来年度より、事前に委員に資料の送付方法の希望を聞いて対応いたします。</p> <p>(2) 施策評価シートを確認いただく際に必要な情報と考えますので、成果指標の設定に係る根拠資料を事前に送付し、シートと合わせて確認できるようにしてまいります。</p>	総合政策部 秘書政策課